第０２回　環境振動性能評価小委員会　議事録（案）

A. 日　　時　2013年 7月 19日　金曜日　17時30分～20時00分

B. 場　　所　本会会議室

C. 出 席 者　松本主査他　計10名

D. 提出資料（提出委員名も記入して下さい）

No.02-01：第1回環境振動性能評価小委員会　議事録（案）

No.02-02：環境振動評価小委員会活動報告まとめ

No.02-03：第2回環境振動性能評価小委員会　メモ

No.02-04：RESULT OF SYSTEMATIC REVIEW OF ISO STANDARD

E. 審議事項

１．議事録確認

資料02-01「第1回環境振動性能評価小委員会　議事録（案）」について

※　前回委員会議事録内容の確認

→　気象庁の長周期地震動：今後とも動向を確認する

→　承認された

２．議論

A）運営員会報告

※　2014年度大会

→　9月12～14日、神戸大学にて

※　オンラインストレージの活用について

→　本小委員会も運営委員会の活用方法を踏襲する

→　アップロードする資料は公開可能な資料のみとする（アップロードされた資料の場合、印刷物持参は不要）

→　委員会開催の2日前までにオンラインストレージにアップロード

→　委員会内のみ閲覧可能等のアップロード不可の資料はこれ迄通り紙媒体で持参

→　委員会参加時には、アップロードされた資料の閲覧が可能なデバイス（ノートPC・タブレットPCなど）の持参を推奨

※　Skypeを用いた委員会参加について

→　委員会不参加の場合にはSkypeにて参加することも可能

→　学会にてroom（オンライン上）を準備するのでご参加ください

B）資料02-04「RESULT OF SYSTEMATIC REVIEW OF ISO STANDARD」について

※　指針改訂へ向けた動き

→　日本からは大きな意見は無し、スペインより現在進行中の鉄道振動に関する振動とのコラボにも留意する必要があるのでは？との意見が寄せられ、議論は持ち越しとされた

C) 資料 02-02「環境振動評価小委員会活動報告まとめ」について

※　4 つの WT について

→　説明性：環境振動に関するリスクの見える化を検証、今後は潜在的な問題の抽出・見える化のもつリスク等に関しても検討

→　広域実測：環境振動のリスクコミュニケーションを主題として活動、今後はネットワークセンサーに関する委員会が別に立ち上げられているので情報の共有化等に留意

→　データベース：環境振動データの集積、加振源の標準化を目指すも非常に困難が伴う、データベースを集積しやすいフォーマットの提案、委員会名においてアンケート調査等も検討

→　評価：環境振動に関する最新の研究成果・知見を取り入れブラッシュアップすることを主眼に活動、今後は評価指針改定への貢献および環境振動の「そもそも論」についても検討

D) 資料 02-03「第２回環境振動性能評価小委員会　メモ」について

※　活動計画

→　指針の改定に注力する方向で（本小委員会としては指針 WG で検討された内容を把握しつつ適切な提案・アドバイス等を行う）

※　検討項目

→　知覚割合のみの評価で良いのか？不安感や行動限界・恕限度等を組み込む必要は？

→　時間軸の影響も検討

→　建物上階部のみの評価が建物全体の評価とイメージされてしまうことも…

３．次回以降の課題

※　評価指針への提言

※　環境振動に関するホットな話題を随時募集

次回の当委員会は、9 月 11 日（水曜日）17 時 30 分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ印刷準備(15 部)されるか、もしくは 2 日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。